

ゲッコーパレード滞在公演

ヘンリー六世

25 Aug - 29 Aug, 2017

於・BUoY 北千住アートセンター

原作 ウィリアム・シェイクスピア 訳 小田島雄志

演出 黒田瑞仁

出演 河原舞 崎田ゆかり 堀井和也 出崎洋樹 上池健太

上田佳世子 佐藤和美

絵画 石原葉 美術 柴田彩芳

衣装 YUMIKA MORI 空間 渡辺瑞帆 (青年団)

照明協力 磯野いるか、鈴木麻友 音響協力 木下勝哉

記録映像 絵空衣音

チラシデザイン 岸本昌也 チラシ絵 石原葉 チラシ写真 瀬尾憲司

制作 岡田萌 制作補助 川口潮奈 協力 東山拓広

ごあいさつ

こんにちは。本日はようこそいらっしゃいました。もし開演までお時間があるようでしたら、どうぞ気をつけてこの場所を歩き回ってみてください。

実は、私たちはこの BUoY (ブイ) で皆さまのお越しを8月の14日から準備をしてお待ちしておりました。というのもこの古くて新しい、半野外のような場所で演劇公演というイベントを実現させるには、劇場や、はたまた我々ゲッコーパレードが普段本拠地としている埼玉県民の民家とはまた違った体裁が必要になると考えたからです。

既にお気づきかもしれませんが、ここには舞台らしい舞台も、客席らしい客席も用意していません。皆さまにはこれから野次馬のように、ここで起きる出来事の数々をお好きな場所から目撃していただきたいと思っています。どうぞ7人の役者たちと同じように、この地下室を動き回ってください。この BUoY の大きな特徴は、そこに一国の王がいたとしても、同じ床伝いの目の前にいるということです。ここではヘンリーは物語と世界の中心ですが、傍観者でもあります。みなさんはどうぞ一人の野次馬になったつもりで、ヘンリーを軸とした無数の出来事にお会いください。

このヘンリー六世という人物は、15世紀に実在したイングランド王国の王です。彼は父であるヘンリー五世が亡くなると少年のまま即位し、隣国フランスとの百年戦争、また王位継承権を巡る薔薇戦争という二つの長く続いた争いとそれに連なるたくさんの事件の渦中に王としてありました。そんな王と時代を、シェイクスピアは『ヘンリー六世』という三部作の大長編として描いたのです。史実としてはともかく、シェイクスピアのヘンリーは権力闘争へ積極的に加担していません。そこでは誰も彼もが「国」や「王」を巡って大騒ぎしていますが、ヘンリーだけはどうもその中心にありながらその騒ぎには参加していないようでした。

とてつもなく複雑な人物関係図と場面数で、三部作すべてを日本語で上演すれば10時間はかかるかという原作から、この公演では私たちが取り出し浮かべてみたいエッセンスを並べると、1時間と15分ほどになりました。間も無く始まります。お好きな場所でお待ち下さい。毎度のお願いで恐縮ですが、どうか事態の把握に躍起にならず、動き回る役者たちやヘンリーとその世界。またご自身の動きを観察しながら、お付き合いいただければ幸いです。

ゲッコーパレード 黒田瑞仁

プロフィール



河原 舞 かわはら まい

1988年8月22日生まれ。大阪府吹田市出身。俳優。京都造形芸術大学舞台芸術学科卒。2016年の戯曲の棲む家シリーズからゲッコーパレードのメンバーとして本格的に始動。身長149cm。食べることが大好きです。アイスとラーメンが好きです。蒙古タンメン中本のカップ麺が好きです。最近ではリプトンレモンティーにハマっています。

出崎 洋樹 できき ひろき

1990年7月18日生まれ。和歌山県和歌山市出身。教師を志し教育学部を卒業するも、演劇に惹かれ劇場創造アカデミーに入る。修了後はダンスO1の研修生として研鑽を積み、内外の公演に出演する。最近では前日産まれた子供のことばかり気になっています。可愛くてしょうがないです。

佐藤 和美 さとう かずみ

1980年5月26日11時55分誕生 純滋賀県産。高校演劇部の後10年程ぷらぷらしていたが、気づいたら演劇世界に戻っていたぜ！おお世界に光あれ！兵庫県のピッコロ舞台技術学校で舞台美術を学び、東京の高円寺の劇場創造アカデミーで色々やり、劇場を飛び出し大道芸人になるぜ！と修業を始めたのであった。今気になっていることは肩甲骨はがしです。

崎田 ゆかり さきだ ゆかり

1988年9月12日生まれ。石川県金沢市出身。中学校の文化祭の劇でお芝居に興味を持ち、同支社大学の第三劇場、座・高円寺の劇場創造アカデミーを経てゲッコーパレードを立ち上げる。中学生のとき一夏をかけて曼荼羅を描く。好きなものはパンと珈琲。女優ではなく俳優でありたい。チケットやDMの絵を描いたり、小道具を作ったりもする。最近気になるのは『台湾とブランデー』。

上池 健太 かみいけ けんた

1992年9月13日生まれ。香川県さぬき市出身。四国学院大学演劇コース卒業後、座・高円寺劇場創造アカデミーに入所し、今年の2月に修了。現在も役者として活動中。最近気になることは樺坂46とブラジリアンワックス

黒田 瑞仁 くるだ みずひと

演出家。1988年5月20日生。少年期をオーストラリアで過ごす。早稲田大学大学院建築学専攻修了。集団の全演目の演出を行うが、劇作はしない。ふだんは旧加藤家住宅の管理人として二階で一人暮らす。平熱37度。最近気になるものはワールドトリガーの連載再開時期。

堀井 和也 ほりい かずや

1988年10月生まれ。大阪府箕面市出身。関西学院大学社会学部卒。現在、箱庭のような架空の町『ミハラ』まちづくり隊を牛のごとき歩みで考案中。箱庭好きな方や、どういうことかわからない方はお声掛けください。最近気になっていることは都市型メガストラクチャーと合縁奇縁とイタリアの小さな町。

上田 佳世子 うへだ かよこ

1996年8月1日生まれ。愛知県日進市出身。高校卒業後一人上京、座・高円寺劇場創造アカデミーを経て今回修了後初の舞台出演を果たす。趣味は書道と片づけ。運が良く勘を頼りに生きている。つまらないと寝る。ターコイズ色が好き。最近気になるのは成長期の期間(まだ背が伸び続けている！)。

岡田 萌 おかだ めぐみ

1988年7月11日生まれ。埼玉県新座市出身。高校卒業後劇団俳小に入団し俳優、制作補助などを務める。ゲッコーパレードには旗揚げ公演から参加、以後全公演の制作を務める。団体のしんがり担当。趣味は家事全般(特に料理)と映画鑑賞。最近気になることは電子レンジと韓国ノワール映画。得意料理は生姜焼き。

石原 葉 いしはら よう

1988年7月9日宮城県生まれ、東京都出身。東北芸術工科大学博士課程1年。日本画材を使用した平面作品を主に制作しつつ、コレクティブについて研究している。趣味は読書、旅行、ドライブ。最近気になることは、くらげの捕食。捕食する側も捕食される側も水流の赴くままに身を委ねると聞いて、くらげを見る目が変わった。現在、千駄木フリュウ・ギャラリー「モノクロマティカIV」に出品中。(8月30日まで)

柴田 彩芳 しばたあやか

京都造形美術大学大学院、油画専攻卒業。2017年8月、ゲッコーパレードにメンバー入り。「あなたと私」という最小の関係の連なりによって世界はできているという考えを元に、人の視覚を通してインスタレーションや絵画作品、立体などを制作している。2014年 TOKYOWONDER SEEDS2014 に入賞。その後東京スパイラルギャラリー、京都では The Terminal Kyoto で展示。現在は京都のアトリエにて制作。最近気になることは、眉毛が異様に痒い日は、絶対に懐かしい友人に再会すること。

YUMIKA MORI

服飾デザイナー。明治大学文学部演劇学専攻卒業。文化服装学院在学。オリジナルブランド「YUMIKAMORI」として服のデザイン、縫製、Fashionに関わる作品制作を行う。最近気になるものはチョココメントアイス。

公演情報



ゲッコーパレード出張公演(仮)

『リンドバークたちの飛行』

2017年10月12日(木) - 17日(火)

於・島菌邸(東京都文京区)

堀井和也

極東退屈道場

『ファントム』

2017年11月24日(金) - 26日(日)

於・アイホール

12月9日(土)、10日(日)

於・ナビロフト

出崎洋樹

ダンス O1 本公演

『(タイトル未定)』

11月上旬

上池健太・佐藤和美

劇団背傳館

役:『没 家族計略』

家:『家族計略』

2017年9月13日(水) - 18日(月・祝)

於・十色庵

ゲストプロフィール



8月25日(金)19:00の回終演後

カゲヤマ気象台(演出家・劇作家)

1988年生。演劇プロジェクト sons wo:代表。東京と浜松の二都市を拠点として活動する。

ディストピア以後の世界観、現代詩的な言語感覚、おかしみと悲哀のある演出が特徴。主な作品に『野良猫の首輪』(2013)『シティ I-III』(2015-2017)など。2015年度よりセゾン文化財団ジュニア・フローに選出。F/T13 公募プログラム参加。『芸創 CONNECT VOL.6』最優秀賞受賞。

8月26日(土)18:00の回終演後

近藤弘幸(東京学芸大学教育学部教授)

東京学芸大学教育学部教授。上演台本の翻訳に、ウィリアム・シェイクスピア『リア王の悲劇』、エドワード・ボンド『戦争戯曲集』、サラ・ケイン『洗い清められ』、アラン・エイクボーン『スリッパ、誰の?』など。著書に、『今を生きるシェイクスピアアダプテーションと文化理解からの入門』(共著、研究社)など。

8月27日(日)18:00の回終演後

今野裕一郎(演出家、映画監督、バストリオ主宰)

2010年にバストリオを旗揚げ、全作品の劇作・演出を務める。自然や都市のもつ感触、役者の身体にある生理や質感を活かし、カットアップやドキュメンタリー編集の手法を用いて想像力を喚起するフラットで豊かな作品をつくりあげる。音楽家とのライブ上演を積極的に行い、『黒と白と幽霊たち』はツアーで八都市をまわった。ドイツの映画祭に招待されるなど映画監督としても活動している。

8月28日(月)15:00の回終演後

本橋仁(建築史家・京都国立近代美術館)

東京で生まれ、早稲田大学理工学術院建築学科で平々凡々たる学生生活をおくる。その後、同大学学科助手。2017年4月より、京都国立近代美術館で働く。求められれば馳せ参じ、あたらしい世界を見せてもらうことを趣味とする。なかでも、興味のある対象としては、明治期煉瓦造建造物、19世紀末ウィーン、大正期新興芸術運動。と、これまで演劇にはほぼほぼ接点なし。

渡辺瑞帆(セノグラファー / 青年団・フジワラテッペイアーキテクトラボ)

早稲田大学理工学術院建築学専攻修了、2016年度同大学嘱託研究員。2016年よりフジワラテッペイアーキテクトラボ一級建築士事務所に所属。建築やアート作品の設計等に携わりながら、舞台空間のデザインをしている。2014-15年 贅沢貧乏、2015-17年 無隣館 2期を経て2017年より青年団演出部。ゲッコーパレード公演には『飢餓陣営・道成寺』『リンドバークたちの飛行』『ハムレット(再演)』と、今回の『ヘンリー六世』に参加。

プチ・パトロンチケット収益利用報告

プチ・パトロンチケット収益を、以下の用途に利用させて頂きました。

- 5月31日 音響機材(アナログミキサー)購入費として、11,664円
- 8月24日 照明協力スタッフ人件費(一部)として、20,000円
- 12月21日 オルガン運搬費として、21,698円

観劇の際に皆様からお支払いただくチケット代金は、作品を創造・上演するための会場費・人件費・舞台費・武芸費・製作費として充てさせていただいております。

皆様の観客としての参加が演劇(表現芸術)を支えています。この場を借りて御礼申し上げます。

ゲッコーパレードは「人の集まりがパレードのように活動や表現を形成していく」という信条から名付けられました。私たちの元にたくさんの方が集まってくださり、今回『ヘンリー六世』という形のパレードができあがりました。パレードに参加してくださった方、サポートしていただいた方、見に来てくださった方に感謝申し上げます。

パレード参加者

安藤瑠佳 伊佐瑞人 石原葉 磯野いるか 上田佳世子 岡田萌 カゲヤマ气象台
上池健太 川口潮奈 河原舞 岸本昌也 木下勝哉 黒田瑞仁 近藤弘幸 今野裕一郎
崎田ゆかり 佐藤和美 柴田彩芳 鈴木麻友 瀬尾憲司 田原綾乃 鶴見勇人
出崎洋樹 東山拓広 堀井和也 本橋仁 森弓夏 山根千晶 與田千奈美 渡辺瑞帆
観客のみなさま

Web: <http://geckoparade.com/>

E-mail: geckoparade@gmail.com

〒335-0003 埼玉県蕨市南町 2-8-2 旧加藤家住宅
